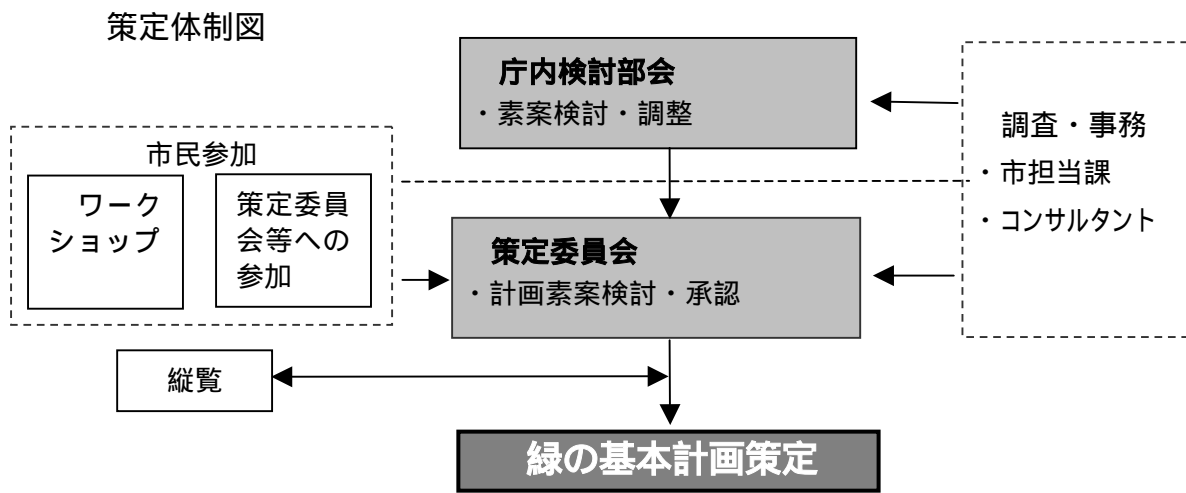


# 第5章 策定経過及び関連資料

## 1. 策定経過

### (1) 策定体制

本計画策定にあたっての組織体制は、検討素案の調整組織としての庁内検討部会と、計画素案としての検討を行う策定委員会の2つの組織を設け運営しました。なお、市民参加による計画提案の検討のため、平成13年度中学生ワークショップ、平成14年度市民ワークショップを設けました。



### (2) 策定組織名簿

#### 三島市緑の基本計画策定委員

所属等	委員名	備考
千葉大学助教授	木下 勇	委員長
地域女性連絡会	井上 早苗	
三島花の会	遠藤 節子	
グラウンドワーク三島	大村 洋子	
緑化運動推進協議会	加々見 勝八郎	
県沼津土木事務所	勝山 裕之	
NPO 法人三島市体育協会	北原 恵三郎	
老人クラブ連合会	杉山 進	
自治会連合会	鈴木 藤男	
三島商工会議所	諏訪部 敏之	副委員長
消防団	田辺 雄二	
都市計画審議会	露木 ひろみ	
子ども会連合会	中野 淳子	
三島市環境審議会	古瀬 保宏	
青年会議所	松本 吉正	
女性懇話会	三久保 美知子	
三島市景観審議会	山田 功江	

作業部会委員

所属等		委員名
総務部	総務課	杉山 孝二
財政部	財政課	竹本 嗣
民生部	社会福祉課	西島 典雄
環境市民部	環境企画課	小池 満
経済部	農政課	市川 涉
	商工観光課	遠藤 安之
	楽寿園	井上 泰司
建設部	都市計画課	山田 美智子
	都市整備課	中居 香善
	建築住宅課	竹居 典夫
	土木課	岡本 康孝
まちづくり部	せせらぎ事業推進室	宮崎 真行
	防災交通対策室	室伏 純二
	電線類地中化推進室	杉山 克博
教育部	教育総務課	水谷 盛彦
	学校教育課	安藤 宏通 佐野 康仁
	文化振興課	古泉 勉
	スポーツ振興課	杉本 忠彦

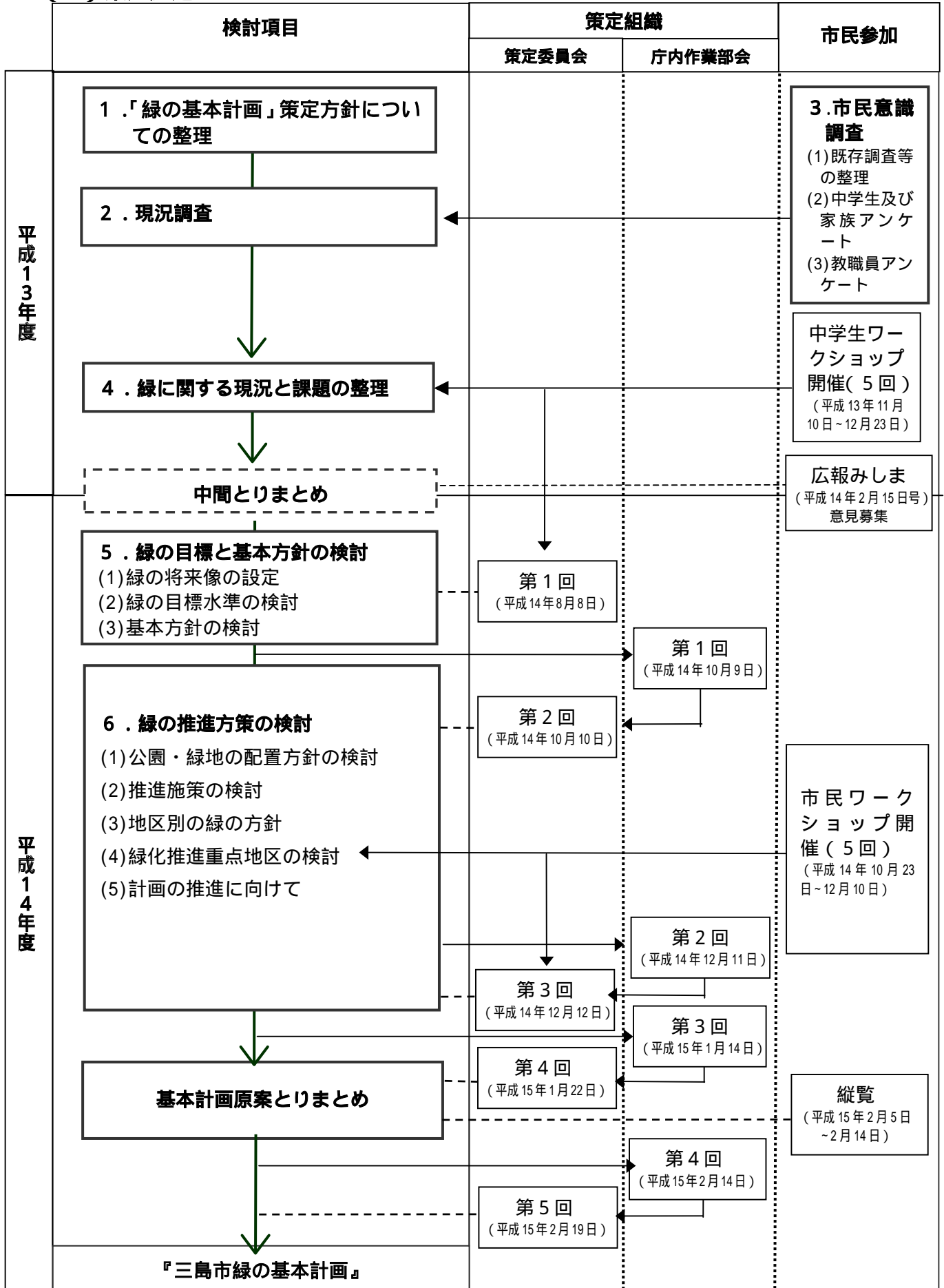
平成 13 年度中学生ワークショップ

委員名	所属等
秋津 理沙	三島市立南中学校生徒 (平成 13 年度現在)
浅田 敦子	
菊地 綾香	
佐藤 希美子	
土屋 朱可子	
伊丹 章子	
大川 晶子	
斎藤 みか	
水越 美里	
岩沢 啓史	
斎藤 拓馬	
野澤 良介	
市川 真	
鈴木 淳	
古谷 博幸	

平成 14 年度市民ワークショップ

委員名	所属等
浜野 幸治	公募
池田 貞夫	錦田地区
坂田 義一	"
中山 勝善	西部地区
古谷 和夫	"
池谷 幸夫	"
西尾 甫	中郷地区
露木 正利	"
諏訪部 亘孝	東地区
勝俣 信一	"
酒井 秀久	"
堀 幸哉	中部地区
小林 允	"
渡辺 了功	"

(3) 策定経過



## 2. 市民意向の概要

### (1) 中学生・家族アンケート

#### 実施概要

市内に立地する各中学校に依頼し、子供や家族の目を通した、市の緑の現状や利用実態、評価について把握するため、アンケート票記入形式により実施。

対象：市内の全中学（7校）の1年生及びその家族

期間：平成13年11月1日～11月20日

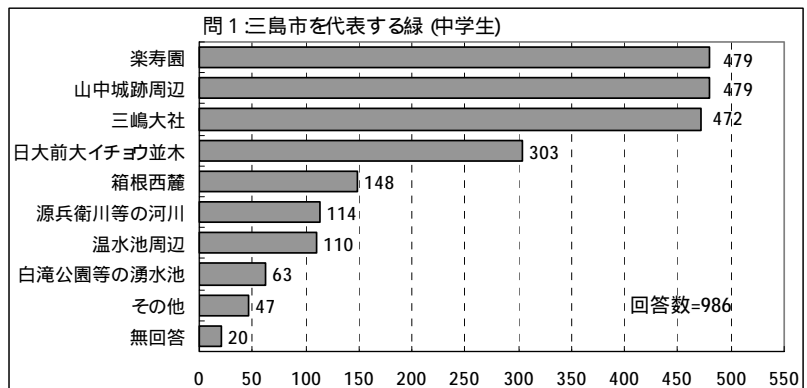
対象校及び回収状況

学校名	配布数	回収数	回収率%
錦田中学校	181	147	81.2
南中学校	197	148	75.1
北中学校	258	234	90.7
中郷中学校	121	116	95.9
北上中学校	155	134	86.5
中郷西中学校	121	93	76.9
山田中学校	145	114	78.6
計	1178	986	83.7

#### 結果概要

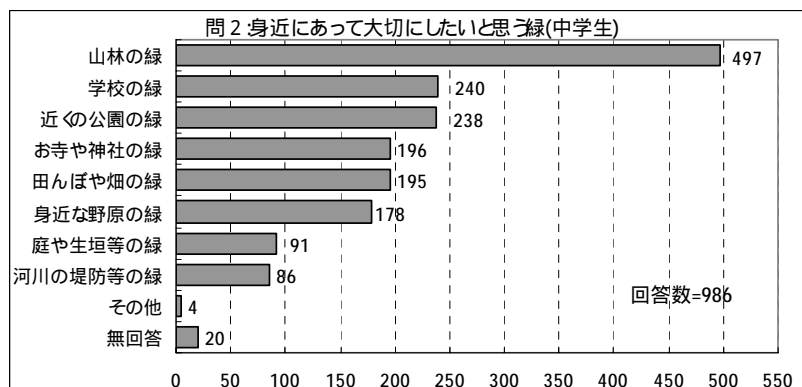
##### 市民からみた代表的な三島の緑イメージ

多くの回答者が楽寿園、山中城跡周辺、三嶋大社といった歴史的な場所をあげています。



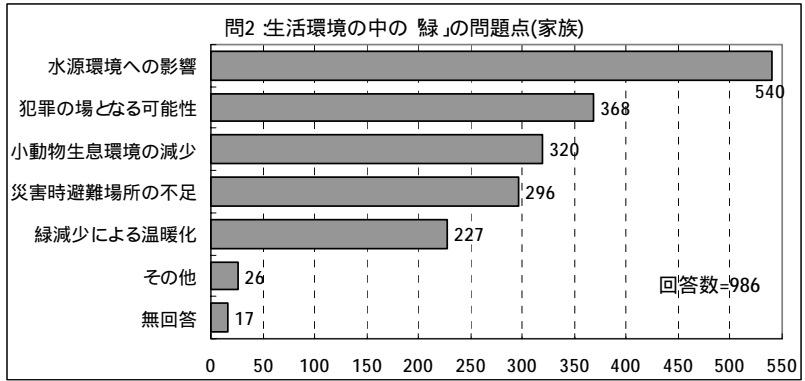
##### 大切にしたい緑

山林の緑、次いで学校の緑や近くの公園となっています。



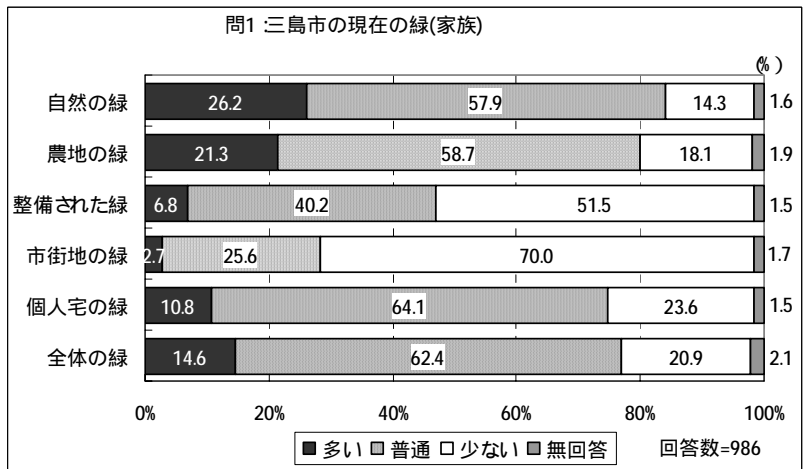
### 緑に対する問題意識

緑の減少による水源環境への影響が多く回答されています。



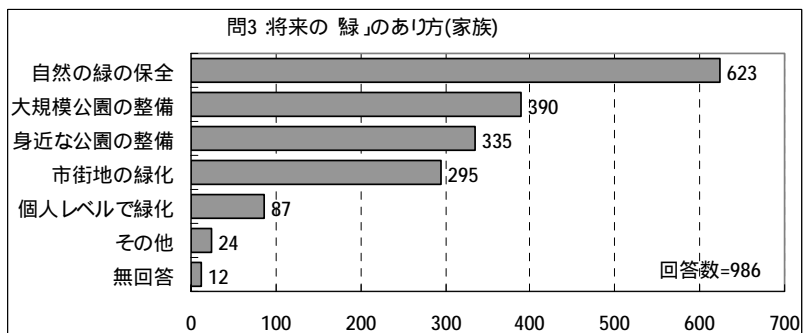
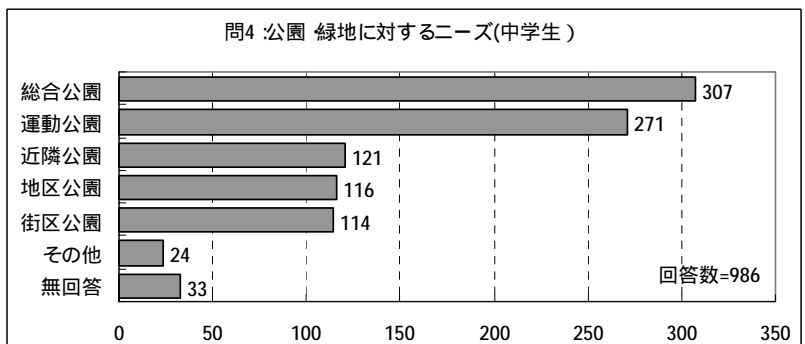
### 緑をとりまく評価

自然の緑は多いものと回答されている一方、市街地の緑、整備された緑は少ないものと回答されています。



### 公園・緑地整備に対するニーズ

総合公園や運動公園、あるいは大規模公園等の整備への要望が高く、伸び伸びとスポーツができるような広場の整備が望まれています。



## 回答要旨

### ア 中学生回答分

三島市を代表する緑	「楽寿園の緑」、「山中城跡周辺の緑」、「三嶋大社の緑」がほぼ同割合で回答されており、この三ヶ所が三島市の代表的な緑としてあげられます。また、学校区毎の差異はほとんど見られません。
身近にあって大切にしたいと思う緑	ほぼ半数の回答者が「山林の緑」をあげており、次いで「学校の緑」、「近くの公園」、さらに「お寺や神社」、「田んぼや畑」、「身近な野原」などが多くなっています。
緑の利用	「芝生など緑のある広場でスポーツ」が最も多く、次いで「木々の中を散歩・散策する」、「虫や草木をとる、観察する」、「桜等の花を楽しむ」となっており、緑の中での積極的な活動が多く回答されています。
現在の公園・緑地に対するニーズ	「広さや設備等をもう少し良く」が最も多く、次いで「箇所数や設備をもう少し良く」、「現状のまま」となっており、市内の公園・緑地に「広さ」を求める意見が多くなっています。その他の意見では「自然のまま」、「手を加えない」、「そっとしておく」、「山・木を崩さない」等の意見が出され、自然保全の観点が多く見られました。
三島市にこれから欲しい緑	「大きな広場や池・森などのある総合的な機能を持ち、三島市を代表する大きな公園をつくること」、「野球場、サッカー場などスポーツができる機能を持ち、三島市を代表する大きな公園を作ること」が多く回答されており、「広さ」、「スポーツ」、「総合的」、「都市を代表する」といったキーワードの公園が求められています。
守り続けていく三島市の緑	「三嶋大社などのお寺や神社の緑」、「箱根西麓の広大で自然豊かな緑」が多く回答されています。
増やし、育てていく重要な対象	「市内の湧水や小川の水源となっている富士山麓・箱根西麓の緑」が最も多く、次いで「源兵衛川などの河川沿いに昆虫・魚や小動物のすみかとなるような緑」となっています。

### イ 家族回答分

三島市の現在の緑	「自然の緑」や「農地の緑」は他の都市に比べて「普通」とする回答が多く、「公園等の整備された緑」、「市街地の緑」が少ないという回答も見られます。
生活環境の中の「緑」の問題点	「都市化に伴う緑の減少により、湧水や小川などの水源環境に影響を及ぼす可能性」が最も多く回答されており、「緑の減少」や「水源」に関する意識が高くなっています。
将来の緑について	「箱根西麓の広大な“緑”など三島市の湧水の水源となる自然の緑の保全」が最も多く回答されています。

## (2) 教職員アンケート

### 実施概要

市内に立地する各中学校に依頼し（対象は(1)と同様）、生徒のみならず、教職員についても対象にし、教育の観点からの緑づくりの位置付けなどに関して把握するため、アンケート票記入形式により実施。

期間：平成 13 年 11 月

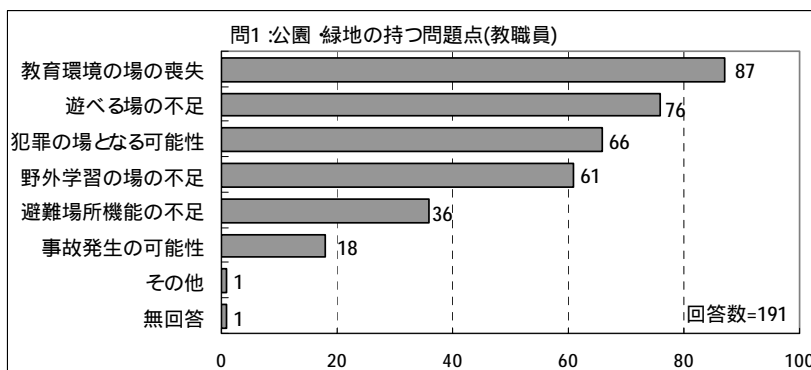
対象及び回収状況

	配布数	回収数	回収率
市内の全中学校（7校）の教職員に配布	230	191	83.0%

### 結果概要（教育と緑の観点）

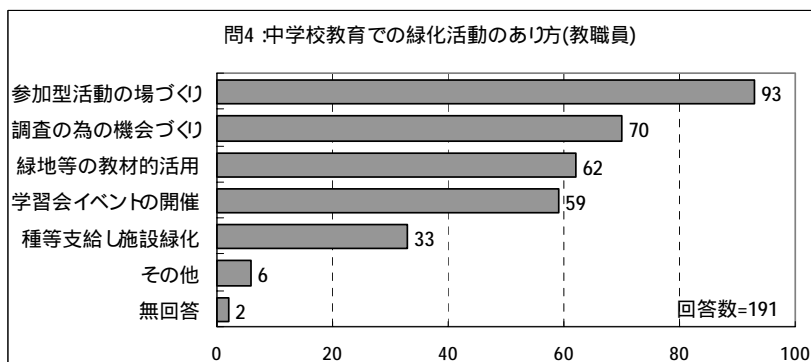
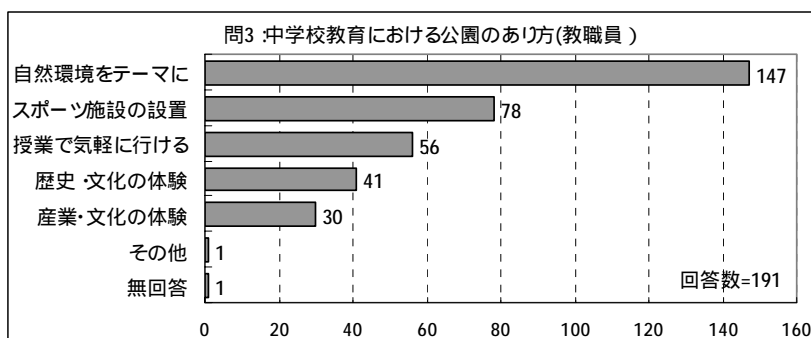
#### 公園・緑地の持つ問題点

教育環境や遊び場所などの不足が多く回答されています。



#### 中学校教育における公園のあり方 及び緑化活動のあり方

自然とのふれあいや、参加に対する意向が高く、環境教育・総合学習を通して強化していくことが必要とされています。





## 回答要旨

<p>現在の「緑」について</p>	<p>環境教育や総合学習を実施する際に思い浮かぶテーマとしては、過半数の教職員が「地域環境と緑の関係」を回答しており、「公園の花」や「樹林」、「市街地と緑の関係」、「学校緑化」といった選択肢に比べ多くなっています。</p> <p>中学校教育を行う際、「公園緑地」のもつ問題点に関しては「都市化に伴う「緑」の減少…」が最も多く、次いで「中学生が遊んだり、楽しんだりできる公園（ローラースケートやバスケットボールコート等の設備など）が少ないこと」、「公園や緑地が、犯罪や少年の非行などの場となる可能性があること」が多くなっています。</p>
<p>将来の「緑」について</p>	<p>中学校教育と公園のあり方として、今後最も望ましいであろうと思う方法については、「自然や森や林とふれ合うことのできる（自然環境をテーマとした）公園を作ること」が多く、次いで「サッカーや野球など、スポーツのできる施設のある公園をつくること」となっています。</p> <p>中学校教育の「緑化活動」の在り方として、「中学生が参加できる植林活動や樹林地管理活動などの場面をつくること」、「調べ学習など、“緑”に対し中学生が質問できる機会をつくること」等が望ましいとされています。</p>

### (3) 事業所アンケート

#### 実施概要

市内に工場等が立地する従業員 50 人以上の事業所に対して「緑」づくりに関する取り組みや意向について把握するため、アンケート票記入形式より実施。

期間：平成 13 年 12 月

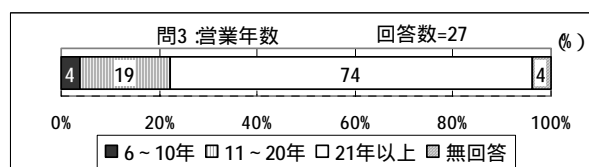
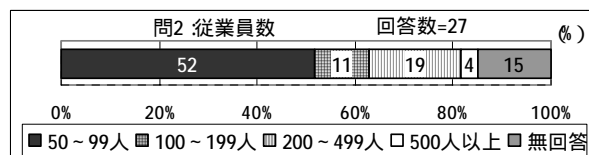
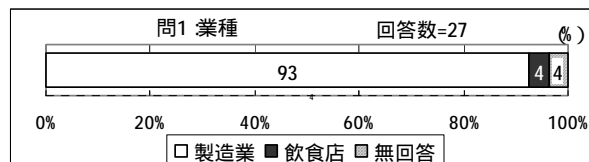
回収状況（全て郵送による）

配布数	回収数	回収率
43	27	62.8%

#### 結果概要

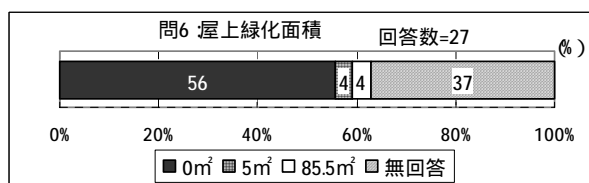
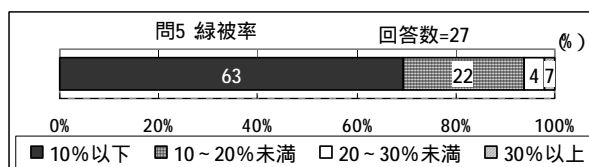
##### 事業所の概要

回答のあった事業所の多くが製造業であり、従業員数は 100 人以下、ほとんどが三島市に 21 年以上在所しています。



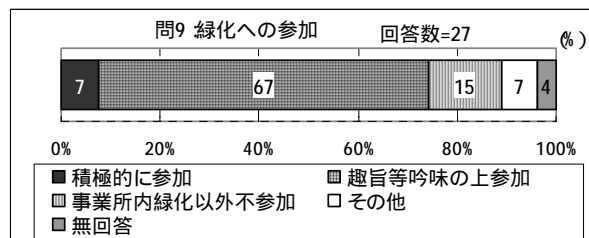
##### 緑化の状況

緑被率が低い事業所が多くを占め、屋上緑化を行っている事業所については2カ所と、緑化はそれ程進んでいません。



##### 緑化への参加

市の緑づくりには多くの事業所が参加、あるいは内容により参加すると回答されています。



## 回答要旨

事業所の「緑」	約44%の事業所が「敷地面積1,000～5,000㎡」であり、約63%が「緑地面積1,000㎡未満」、「緑被率10%以下」となっています。また、「屋上緑化」を行っている事業所は2カ所、「水辺がある」事業所は4カ所となっています。
事業所における緑化の取り組みについて	「どのように役に立っているとお考えか」については、「事業所のイメージを高める」、「職場や地域の環境に彩りや潤いを与える」が最も多くなっています。
敷地内の緑の問題点	「敷地が狭く、緑を植える場所がない」、「管理にコストがかかりすぎる」等が多く回答された。今後の取り組みに対しては「特にない」が最も多く、次いで「外から見える場所に花壇やプランターを置き、草花を植えたい」となっています。
市の緑づくりに対する関わり	市が呼びかける緑づくりに対しては、「その趣旨、内容を吟味して参加する」が66.7%と多くなっています。
三島市の「緑」について	市内の緑の印象について「市街地の周囲に豊かな緑がある」が最も多く、「緑の特徴」については、「三嶋大社や楽寿園等、市中心部に豊かな緑がある」が多くなっています。また「街中がせせらぎ事業」に関しては、「聞いたことがあるが内容は知らない」が、多くなっています。